校内研修計画

**山梨市立笛川中学校**

**１　学校課題**

本校は山間部に位置し，豊かな自然に恵まれた地域にある。生徒の減少が続いており，全ての学年が単級となっている。日々の学校生活を楽しむ純朴な生徒が多い。スクールバスを利用しての通学をする生徒が大半で，活動時間には制約がある。そのような中でも学習活動，学校行事，生徒会活動，部活動等，意欲的に取り組む様子がうかがえる。家庭や地域社会とのつながりもあり，望ましい教育環境にある。一方，クラス替えがなく，長い生徒では保育園からの固定された人間関係があり，自ら集団の向上のために声をかけること，新しいことを受け入れ自分なりに工夫し，変化を加えることについては弱さが見られる。教職員からの指示を受けてから気づき動くことはできているが、今後は自分たちを客観的な視点で見つめ，物事の改善のために知恵を出し行動する力を身につけてもらいたい。

**２　研究主題**

**主体的に学習に取り組む生徒の育成**

**～場面に応じた対話的な学びを通し，伝える力を高めるための授業づくり～**

**３　主題設定の理由**

上記研究主題についての研究は，ここ数年継続しており，徐々にではあるが成果がでている。今年度も　「主体的に学習に取り組む生徒の育成」という本題は踏襲し，生徒が対話の中で自分の考えを広げ，理解を深めることで，それぞれの自信につなげられる研究を目指したい。昨年度は双方向での対話やコミュニケーションを取り入れた学びに重きを置き，効果的な授業づくりに取り組んだ。今年度は，対話の中で相手の意見を受け取って，「自分の考えを深める」という学びに焦点を当てていきたい。

文部科学省の示す「深い学び」とは，問題を見出して解決策を考えることや，思いや考えを基に創造することが含まれる。これらは，上記学校課題で記した本校生徒に身に着けてもらいたい力と一致する。

国立教育政策研究所によると，「学習者」には，子供同士の協働，教職員との対話通して自分の考えを深める視点が必要とされている。さらに，山梨市の「ECHOES学習」を取り入れていくことで，地域の人との対話そこで，副題を「場面に応じた対話的な学びを通し，伝える力を高めるための授業づくり」とした。

一方，「授業者」には交流を通じて思考を広げる視点，協働して問題解決する視点，板書や発問で子供の学びを引き出す視点を持つことが必要とされている。学習者における学びの改善の視点と，授業者における授業の改善の視点が往還することが主体的で深い学びの実現に繋がっていく。「学習者」の視点と「授業者」の視点の両方から，深い学びの達成を目指したい。

**４　研究の内容と方法**

　○「主体的・対話的で深い学び」の視点からの学習づくり

今年度の校内研は実践研究とし，「個別最適な学び」を目指し，子供一人一人の特性や学習進度，学習到達度等に応じ，指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行うことなどの「指導の個別化」と，教師が子供一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで，子供自身の学習が最適となるよう調整する「学習の個性化」を踏まえ進めていく。さらに，探究的な学習や体験活動などを通じ，子供同士で，あるいは地域の方々をはじめ多様な他者と協働しながら，あらゆる他者を価値のある存在として尊重し，様々な社会的な変化を乗り越え，持続可能な社会の創り手となることができるよう，必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」にも繋がるよう研究を進めていく。（山梨市ECHOES学習も含め）

具体的には　⇒

　　　　　　　①協働的な学習の工夫により，生徒の対話力を向上させていく。

②教師のファシリテーターとしての授業展開。

教師の取組

　　　　　　　③協働的な学習の土台となる基本的な知識の習得

　　　　　　　④笛川ノートを活用した振り返りと自主学習

　　　　　　　⑤言語活動の充実→発信力の強化（各教科授業，NIE）

（NIEは生徒会の常時活動として続けていく。生徒全員が１度ずつ，事前に練習をしてマイクを通して伝わりやすい話し方を意識させる。ワークシートに新聞名を記入する枠を設ける。）

　　　　　　　⑥一人一実践での授業提供，授業参観と学び合い

⑦Q-U分析を活用した望ましい学習集団づくり（K－13法を用いて）

　　　　　　　⑧有効なICTの活用（研修会の充実）

　　　　　　　⑨「やまなしスタンダード」を基にした授業実践

　　　　⑩保護者や地域，小学校との連携

・地域の方々に協力してもらった実習体験を通した学習（農業，地域産業）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **回** | **202３年度研究会予定** | **研　究　内　容** | **TC要請** |
| １ | ４月１３日（木） | 今年度の「研究主題・副題」等の決定 |  |
| ２ | ４月２６日（水） | 年間計画，学習評価，家庭学習の取組について |  |
|  | 5月　８日（月） | 第1回Q-U実施 |  |
| **5月17日（水）ブロック交流①　授業公開交流（於：笛川中学校）** | | |  |
| ３ | ５月２４日（水） | Q-U分析（3学年　全職員で検討） |  |
| ４ | 6月21日（水） | Q-U分析　介入方法について学習会 |  |
| ５ | ７月　５日（水） | Q-U分析　介入方法について学習会② |  |
| ６ | 7月１２日（水） | Q-U分析　介入方法について学習会③ |  |
| ７ | ８月２3日（水） | 教育課程説明会還流報告・職員会議 |  |
| ８ | ９月１３日（水） | 教科ブロック研究日（一人一実践について） |  |
| ９ | ９月２０日（水） | 教科ブロック研究日（一人一実践について） |  |
| １０ | ９月２７日（水） | 研究授業に向けて，学習指導案検討 |  |
| １１ | １０月１１日（水） | 研究授業に向けて，学習指導案検討 |  |
| 第２回Q-U実施　10月10日 | | | |
| １２ | １１月　１日（水） | Q-U分析（3学年　全職員で検討） |  |
| **１１／１６（水）ブロック交流②　　情報交換会（於：笛川小学校）** | | |  |
| １３ | 月　　日（　） | 研究授業（　　　　　　　　　　　　） | ○ |
| １４ | １２月６日（水） | Q-U分析　介入方法について学習会④ |  |
| １５ | １月１７日（水） | 学年ブロック研究日 |  |
| １６ | １月３１日（水） | 研究紀要について，学校評価アンケートについて |  |
| １７ | ２月７日（水） | 研究紀要の作成について，来年度の教協体制について |  |
| １８ | 2月31日（水） | 今年度の成果と課題・来年度の方向性について |  |